

# 2022年度日本近代文学会秋季大会

Association for Modern Japanese Literary Studies

〔会場〕同志社大学今出川キャンパス・参加無料(どなたでも参加できます・ハイブリッド開催)

# 近代 日本 の

# 宗教 と 差別

## せめぎ合う〈差異〉と公共性

22<sub>[土]</sub>

友常 勉・生の形式の臨界=消尽と新たな〈生〉——サバルタンと宗教——

小嶋洋輔・遠藤周作の「弱者」再考——「かくれ切支丹」表象の変遷を視座として——

篠崎美生子・被爆地「長崎」——差別の輻輳——

ブルナ・ルカーシュ・現実と理想、分断と連携

——定住・定職に規定されない生活を描く——

# 10.22<sub>[土]</sub> 23<sub>[日]</sub>

## 文学作品を通してのみ 聞き得る声に耳を傾ける——

さまざまな場所や

「宗教」における〈差異〉をめぐる問題を  
文学がいかにか描いたか、  
あるいは描き得なかったのか

資料・参加者の事前登録は、下記の日本近代文学会HPから

<https://amjls.jp/>

※会場には来場者のためのWiFiがありません。資料は予めダウンロードしてください。  
会場は全面禁煙です。

23<sub>[日]</sub>

●研究発表

大橋崇行 / ケビン・ニーハウス / 王 青 /

唐銘遠 / 松原大介 / ディ・マルコ・ルクレツィア /

山本勇人 / 藤原崇雅 / 邵金琪 / 劉夢如 / 宋元祺

●パネル発表

中村健、荒井真理亜、三浦卓、富永真樹、副田賢二 /

石川巧、大原祐治、牧義之、渡部裕太